

日语复合格助词研究与同声传译的预测

—以表方向的「に対して・に向かって・に向けて」为中心—

张 晶

Japanese Compound Postpositional Particles and Prediction of Simultaneous Interpretation:

—Analysis of ‘nitaishite, nimukatte, nimukete’—

Zhang Jing

要旨

本稿は「に対して・に向かって・に向けて」を対象に、それぞれの意味特徴と文法機能を考察した上で、共通点と相違点を分析してみた。まず、三者の意味特徴から見ると、「に対して」は向き合った上での① [+ 主動的に向ける] タイプ、② [+ 応答的に向ける] タイプ、「に向かって」は①移動しながら [+ 主動的に対面する] タイプ、②移動せずに [+ 主動的に対面する] タイプ、「に向けて」は強い意志を込めた [+ 主動的に向ける] タイプに分類することができると論じた。そして、このような異なった意味特徴は三者の文法機能に影響を与え、複合格助詞と接続した NP と述語の種類もある程度の違いを表した。最後に、本稿は同時通訳の情報予測に言及し、上述の相違点に基づく述語への予測可能性について論じた。

キーワード 「に対して」、「に向かって」、「に向けて」、意味特徴、
文法機能

1. 表方向的日语复合合格助词

在日语中有多个语义相近的复合合格助词群，本文主要探讨表方向意的复合合格助词——「に対して」、「に向かって」及「に向けて」。

关于该类复合合格助词，以往研究主要呈现出两个特点，1) 对单个复合合格助词考察较为详细，对复合合格助词之间的横向比较则较为简略；2) 涉及「に向かって」与「に向けて」比较的文献相对较多，与「に対して」一并进行比较的文献则相对较少。

首先，关于「に対して」，グループKANAME (2007) 从语义与共现谓语句类的角度出发，指出「Xに対してY」可分为四类：1) X为行为Y最终指向的对象；2) X为积极对抗、应对类行为Y所指向的对象；3) X为态度、情感类动词Y指向的对象；4) X为表反应、作用类Y指向的对象。马小兵 (2011) 则从句法角度加以考察，将「に対して」分为可与格助词「を」、「に」替换的类型和不能与二者替换的类型，并分别对每类的主语、X及Y之特征进行了描写。

其次，关于「に向かって」，グループ・ジャマシイ (2000) 根据语义将其分为三类：1) 表方向；2) 表面对；3) 表动作涉及的对象，并提出第三类语义可与「に対して」互换。对于「に向けて」，则将其分为四类：1) 表方向；2) 表目的地；3) 表动作涉及的对象；4) 表目标，并同样指出第三类语义可与「に対して」互换。

当然，除了对上述复合合格助词分别作本体研究外，也有部分对比研究。グループKANAME (2007) 指出「に向かって」所指对象与主体应为面对面关系，而「に向けて」对此不作要求。卢涛 (1996) 认为「に向けて」具有意图性，可后接动词使役态。马小兵 (2010) 则从语法和语义两个层面对三者的异同进行了详细考察，析出三者在与单一格助词互换时呈现出的不同特点。

上述研究总体上抓住了各个复合合格助词的主要特点，并就三者之间的

区别与联系进行了归纳，但说明还欠完整和系统性，具体为：

- 1) 以往研究除马小兵外，均主要从语义进行分析，并未详述该类复合格助词的语法功能。
- 2) 就该类复合格助词的语法功能，马小兵虽指出其可代替单一格助词，但未详述替换后有何不同；其次，关于「に向かつて」、「に向けて」，以往研究提到了其可与「に」互换，但没有讨论是否可与「を」替换。
- 3) 此外，グループ・ジャマシイ虽然提出「に向かつて」和「に向けて」表动作涉及的对象时可与「に対して」互换，但并未详述具体有何区别。

因此，我们有必要对三者的语义特征作进一步细化，系统考察三者的句法，及句法中各个成分之间的潜在关联，在此基础上析出三者之间的区别与联系，并将研究结果用于同传预测的实践。

2. 方向义复合格助词的语义特征和语法功能

复合格助词在一定条件下可与单一格助词替换，充当句子的格成分，但意义区别于单一格助词。表方向意的复合格助词也是如此，这种语义特征的不同来自于其复合方式的不同。此外，从充当的句法成分来看，一般认为三者有时可作句子的必要成分，有时也可作句子的非必要成分。

2.1 「に対して」的语义特征和语法功能

2.1.1 「に対して」的语义特征

「に対して」由格助词「に」和动词「対する」的连用形加接续助词「て」复合而成。塚本（1991）根据动词部分语义虚化的程度，将复合格助词分为三类，其中以「～に対して」、「に向かつて」、「に向けて」为代表的A类虚化程度最低，这意味着其动词部分本身的语义保留较为完整，

因此我们可从动词语义入手，得出复合格助词所具备的语义特征。

首先，根据『国語大辞典』（尚学図書編集，小学館，1988）和『現代国語例解辞典』（小学館辞典編集部，小学館，2005），「対する」本身的底层语义可概括为三项：1. 主语与对象静态相对，位置调换后语义不变；2. 主语与对象静态相对，主语主动指向对象，二者不可调换位置；3. 主语与对象动态相对，主体回应指向对象，不可调换位置。

事实上，动词「対する」的部分语义特征也为「に対して」所承袭。

- (1) 一型が自由業的な独自の仕事を探すのに対して、二型はリタイア前とほとんど変わらない人生を送る。（『レッドライト』）
- (2) アメリカ国防総省は声明を発表し、イランが十数発の弾道ミサイルをイラクに駐留するアメリカ軍などに対して発射したと明らかにしました。（NHK，2020.1.8）
- (3) （彼は）私の質問に対して何も答えてくれなかった。（グループ・ジャマシイ，1998：443）

如上例所示，例（1）充当连接句子①「一型が自由業的な独自の仕事を探す」与句子②「二型はリタイア前とほとんど変わらない人生を送る」的接续词，用于前后对比，①②位置交替后语义基本不变（本文主要考察作为复合格助词的「に対して」，对该类暂不论述）；例（2）中「に対して」为复合格助词，「イラン」与「アメリカ軍」静态相对，「イラン」主动发射导弹，「アメリカ軍」是这一行为的最终承受者，二者不可调换位置；例（3）中「に対して」为复合格助词，「私の質問」先作用于主语，主语「彼」对此进行回应，二者同样不可调换位置。

即虚化为复合格助词的「に対して」沿袭了「対する」的语义2和3，语义特征表现为：1）静态相对下的 [+主动指向] 关系；2）动态相对下的 [+回应指向] 关系。

2.1.2 「に対して」的语法功能

根据「に対して」在句中发挥的语法功能，我们可将其分为三大类：1) 能与单一格助词「を」替换；2) 能与单一格助词「に」替换；3) 不能与单一格助词替换。

1) 「に対して」可与「を」替换

- (4) 平岩は村人の嘲笑、侮辱に対して、恨まずにはいられなかった。
(改自裴丽, 2011 :146)
- (5) 道頼は自分の父——すなわち桂英太郎の血を引いている者には「さん」を付けない。父から見て、弟の悟二郎、甥の政之、姪の弓恵、甥の娘である奈津美の四人だ。それに対して、その配偶者やみね子、さらに八橋雅空に対しては「さん」付けで呼ぶ。(『風水京都・竹の殺人』)
- (6) テクノポリス開発機構が、その蓄積された技術をテクノポリス地域の周辺地域の中小企業へ波及させるため、指導・研修事業等を行うことに対して補助する。(『中小企業白書』)

上例中「に対して」可与「を」替换，其中例(5)的「に対して」接续系助词「は」构成句子话题，带有对比之义，与「を」替换时需将「は」删掉。此时谓语可为形容词化的心理动词，与「～と」构成「NPに対して～と思う／批判する／褒める／讃える」等形式的言语动词，和被「することができる」、「ていく」、「きっと～と思う」等情态包裹的表“帮助”、“指导”类的动作动词。

2) 「に対して」可与「に」替换

- (7) 7日午後5時半ごろ、イランはイラク国内のアメリカ軍や連合軍の施設に対して、十数発の弾道ミサイルを発射した。(BBC, 2020.1.8)
- (8) しかしそれでも、わたしは彼に対して、尊敬の気持ちを持ってい

る。(『新本忠臣蔵』)

- (9) 一連の寺内内閣の言論弾圧に対し¹新聞社は激しく抗議し、言論報道の自由に関する運動に発展していった。(『weblio英和英辞典』)

当「に対して」可与「に」替换时，谓语可为发送／提供／给予类的动作动词，即心理动词的动宾结构，此时「に対して」表 [+主动指向] 义。另外谓语也可为前接连体修饰语或插入语的反抗回应类动词，此时「に対して」表 [+回应指向] 义。

3) 「に対して」不能与单一格助词替换

- (10) 自分にはそれくらいの功績が会社に対してあるはずだ。(『イン・ザ・プール』)
- (11) 私はあなたがたに対して、言葉を連ね、あなたがたに対して、わが頭を振るであろう。(『旧約聖書』)

当「に対して」不能与单一格助词替换时，可进一步分为①前接NP可作句中名词的修饰语，如例(10)变为「会社に対する功績」；②NP不能作某个名词的修饰语，是谓语或整个主谓句所指向的对象。此时谓语可为动作动词，也可为存在动词。

2.2 「に向かって」的语义特征和语法功能

2.2.1 「に向かって」的语义特征

「に向かって」由格助词「に」和动词「向かう」的连用形加接续助词「て」复合而成。

根据『現代国語例解辞典』(小学館辞典編集部，小学館，2005)，我们可将「Xに／へ向かう」中的「向かう」分为两类，第一类表主语静态

¹ 本文暂不关注「に対して」与「に対し」之区别，将二者视作基本相同。

面向X，不发生位移；第二类表主动态面向X，向X发生位移。该类又可下分为三种情况：①X表方位处所，本身处于固定状态；②X对主体施加阻力，具有一定动态性；③X表某一状态，主体向X发生抽象位移。

即与「对する」相比，「向かう」虽然也有静态和动态之分，但在静态下更强调主体单向面对X而非相对，在动态下强调主动向X位移而非回应式应对。这种语义特征为虚化后的复合格助词「に向かつて」所承袭，可用于解释为何部分句子与「に対して」互换后接受度有所下降，或与「に対して」替换后语义发生一定改变。

- (12) きのような爆発音を体で感じた瞬間、私は自分の内に向かつて／△²に対して「これでいい」と呟いた。(『北帰行』)
- (13) 浅見は慌てて、受話器に向かつて／△に対して唇を尖らせた…
「民間人の僕が、専門家である警察のみなさんの、それも合同捜査会議なんかで話すことなんかできませんよ」(『御堂筋殺人事件』)
- (14) 克哉は、医師に向かつて／○に対して、突然、荒い言葉で罵り始めた。(『ハウス』)

当「に対して」为静态相对下的 [+主动指向] 时，要求前接X为具体的事物，是接受主体动作行为的最终对象。与之相比，静态下的「に向かつて」更强调主体主动、单向面对X，因此X可以不是具体的事物，如例(12)中「自分の内」为抽象的心理空间；也可以不是主体动作行为指向的最终对象，如例(13)，「受話器」只是主体动作面对的对象，其实际指向的是电话另一端的人。

当X既为具体事物，又为主体动作行为的最终对象时，「に対して」和「に向かつて」可以替换，如例(14)。不过「に向かつて」倾向于对

² “△”指一定程度上可接受，但“○”接受度更高。

某一场景的实时描写，强调主体的言语态度、动作行为面向X，但不关注该态度或动作是否传达到X。「に対して」则倾向于对某一事件的事后描述，强调主体的某一言语动作是针对X，或是对X作用力的某种回应。因此例（14）中，当句子表「克哉」面对「医師」时用「に向かつて」，表「克哉」针对或回应「医師」时用「に対して」。

综上所述，「に向かつて」的语义特征为基于静态面对和动态位移的 [+主动面向] 之意。

2.2.2 「に向かつて」的语法功能

首先，当「に向かつて」为动态位移下的 [+主动面向] 之义时，根据语义我们可将其分为三大类。

1) N 1 面对N 2，向N 2进行位移，该类又可分为三小类：

①谓语为位移动词，「に向かつて」有时可与单一格助词「に」替换

(15) まっかな溶岩が、鳥の人たちをあざ笑うかのように、空に向かつて / 〇にふき出している。(『命を救え！愛と友情のドラマ』)

(16) 尼崎駅では、城崎温泉行きの下り特急北近畿3号が事故現場方向に向かつて出発した。(『神戸新聞』)

(17) 「離れなさい！」ゴードンは原っぱをヒステリックに吠えながら、風に向かつて走っていた。(『風の吹く日は』)

第一小类中，根据主语S与NP的位置关系，可分为三种情况：1. S面向NP，向NP位移，但无法到达NP，如例（15）。此时S多为表气体、液体等具有流动性的非生名词，NP为处所词；2. S面向NP，向NP位移，并有可能到达NP，如例（16）。此时S多为有生名词或拟人化的非生名词，NP为处所或方位词；3. S面向NP，在与NP交叠的情况下位移，如例（17），此时S多为有生名词，NP为「風」、「波」等带来阻力的自然物。

上述三种情况下V均为位移动词。松本曜（1997）曾指出位移动词包

括方向性移动动词、如「行く」、「落ちる」；途经位置移动动词、如「抜ける」、「曲がる」；移动状态动词、如「歩く」、「飛ぶ」等。适用于以上三种情况的移动动词主要为方向性移动动词和移动状态动词，其中第1、2种情况，当V可接表终点的单一格助词「に」时、「に向かって」可与之互换，但语义发生改变，如例（15）中「溶岩」喷射的方向为「空」、当「に向かって」换作「に」后、「空」变为「溶岩」所到达的终点。

②谓语为动作动词、「に向かって」不可与「に」替换

- (18) 最後縁をまず縫合結紮してから、術者の手前に右側に向かって血管内腔より連続縫合し…（『複雑心奇形の手術』）

第二小类中，S作为动作动词V的施事，本身不一定向NP移动，且多在句中省略。向NP移动的是S的手。V为「縫合する」、「マッサージする」等具有连续性位移特点的动作动词。此时由于V本身不具有方向性、「に向かって」不可与「に」替换。

③V为变化动词、抽象动词、「に向かって」可与「に近づく中で」替换

- (19) 人間は、生を享けると、その日から死に向かって発達し、時に退行しながら成熟し、やがて老化していく。（『非行』は語る』）
- (20) 秋になって一気に体調が冬に向かって変化をしているのだろうか。（『加藤哲夫のブックニュース最前線』）
- (21) トインビー博士ご夫妻も、実に仲睦まじくなごやかで、そして共通の目的に向かって一体になっておられました。（『主婦の友社』）
- (22) 夢に向かって頑張ってるだけや…（『Yahoo!ブログ』）

第三小类为第一小类中第2种情况的进一步扩张。此时谓语不再是移动动词，而是指在S向NP位移的过程中①S所发生的变化、如例（19）、（20）、（21）；②S所采取的措施、如例（22）。当语义为S所发生的变化时，这种变化可为连续渐变、如例（19）、也可为快速变化、如例（20）。

2) S本身固定、视角从S向NP位移。

- (23) 出入口から舞台に向かって一本の赤いじゅうたんが敷かれ、その両側には赤と黄色の花・電飾がかざられている。(『学校を飾る・彩る』)
- (24) 公園の端には手すりがあり、海に向かって切り立っている。(『ジールス国脱出記』)
- (25) 鉄砲狭間とは、城内に攻め入ろうとする敵を、鉄砲で攻撃するところ。外側に向かって狭くなっています。(『ひろしま市民と市政』)

此时S多为非生名词，NP为处所方位词，谓语为①「敷かれる」、「飾られる」等表设置意的动词，②「伸びる」、「切り立つ」等延伸意动词，③「下り坂になる」、「狭くなる」等表变化意谓语。此时S与NP的相对位置保持不变，视角从S连续不断地移向NP。

其次，当「に向かって」为静态面对下的 [+主动面向] 之意时，可分为三类。

1) 「に向かって」不可与单一格助词替换

- (26) 白衣の人間が長剣の切っ先を自分に向かって構え、その背後に円陣をつくった黒衣が、あやかしの輪舞を踊っていた。(『黒魔術の女』)
- (27) 慰霊碑に向かって祈りを捧げる。(グループKANAME, 2007, 181)

该类表S面对NP做某种动作，因此S为有生名词，NP为有生或非有生名词，V为动作动词。此时，「に向かって」不能与单一格助词替换，主要可分为两种情况，①V本身不要求方向性，如例(26)，②句法上「に向かって」可与「に」替换，如例(27)，但由于NP是S面向的对象，与S实际指向的对象(死者)不一致，替换后语义出现偏差，因此不能替换。

2) 「に向かって」可与「に」替换

(28) 北朝鮮はなぜいつも日本に向かってミサイルを飛ばすのか。
(RecordChinaニュース, 2017.9.17)

(29) テスは涙を拭くと女店員に向かってほほえんで見せ、気持ちを立て直した。(『フィアンセは当店で』)

该类表S面对NP做某种动作V, V要求「に」格, NP既是S面向的对象, 也是S最终指向的对象。我们可根据语义将其进一步分为两类, ①S面向NP发送O, O有可能从S到达NP, 如例(28); ②N1面向N2, 对N2做出某种动作, 说出某种言语, 如例(29)。

二者可与「に」替换, 同时也在一定程度上可以和「に対して」进行替换。不过正如前文所述, 「に向かって」与「に対して」替换后, 语义会发生微妙的改变, 如例(28)中, 「に向かって」只关注「ミサイル」位移的大致方位, 「ミサイル」不一定落到「日本」本土, 也可能落到日本附近的公海, 「に対して」则倾向于关注「ミサイル」位移的目的地, 「日本」是「ミサイル」下落的终点。

3) 「に向かって」可与「を」替换

(30) トルシエは厳しい上司である。つねに選手に向かって怒鳴っている。(『星野仙一に学ぶ部下覚醒の心理学』)

该类较为少见, NP既是S面对的对象, 又是S动作的受事, 因此V比较单一, 多为「怒鳴る」等言语批判类。此时, 「に向かって」可与宾格助词「を」替换, 但较「を」, 「に向かって」多了面向之意。

2.3 「に向けて」的语义特征和语法功能

2.3.1 「に向けて」的语义特征

「に向けて」由格助词「に」和动词「向ける」的连用形加接续助词「て」复合而成。

根据『現代国語例解辞典』(小学館辞典編集部, 小学館, 2005),

「向ける」的语义主要有三类：1)「ある方向を指すように物事の向きを変え、目指す」(如「妻に怒りを向ける」、「顔を上に向ける」)；2)「ある対象、目的、用途にそれを当てる」(如「給料の一部を交際費に向ける」)；3)「あるところに行かせる」(如「使いの者を都に向ける」)。

将以上例句转换为「向かう」句，则为：

妻に怒りを向ける→怒りが妻に向かう

顔を上に向ける→×顔が上に向かう／顔が上向きになる

給料の一部を交際費に向ける→×給料の一部が交際費に向かう／給料の一部が交際費になる

使いの者を都に向ける→使いの者が都に向かう

即第一和第四句都可变为「向かう」句。在「XをYに向ける」结构中，X发生从非Y到Y的线性位移，如「怒り」从「夫」位移向「妻」，「使いの者」从说话人身边位移向「都」。与「向かう」相比，「向ける」突出了主体的主观能动性，强调①在主体的意图下，②X向Y位移，③X到达Y，而「向かう」只用于客观描述第②X向Y位移。

第二和第三无法变为「向かう」句。由于X并未线性位移，只是发生了非线性的转向或抽象的转变，因此句子强调①在主体的意图下，②X从非Y变为Y状态。

由此可知，「向かう」的动态位移之语义系包含于「向ける」整体语义中的一个并非必有过程，「向ける」本身更强调主体的意志性，以及在意志下达成的结果。这种语义特征在某种程度上为复合格助词「に向けて」所承袭，使「に向けて」较「に向かう」，因主体的意志性而有了更强的指向性。

(31) 労働時間の水準を昭和六十年年度までに欧米先進国並みに近づけるという目標に向けて／△に向かつて、産業別労使会議等による行政指導を強化してまいる所存であります。(『国会会議録』)

- (32) それぞれの夢や目標に向かって／○に向けてがんばってください。
(『市政広報ふくい』)
- (33) 二十一世紀に向けて／△に向かって、持続的かつ安定的な経済成長を実現していくためには、国内のさまざまな産業や企業の再生が不可欠である。(『チャレンジ立国論』)
- (34) こういうふうに世界の国が二十一世紀に向けて／△に向かって食糧不足というのはもう常識的です。(『国会会議録』)

如上例(31)和(32)所示,当复合格助词前接NP均为「目標」时,「に向けて」往往要求该「目標」更容易识别,因此其多为与社会层面关联的、用于论述型文本的、比较具体清晰的目标,同时后接谓语也为具体的行为举措。相反,与「に向かって」共现的「目標」则多为涉及个人、用于抒情的、比较抽象模糊的目标,同时后接谓语为「頑張る」等表个人决心、较为抽象的行为动作。不过当(32)中抽象的目标需要强调时,也可将「に向かって」替换为「に向けて」。

「に向けて」的强指向性还体现在,当前接NP为单纯时间词时,多与表目的的「ように」、「ために」、「には」、「ための」等从句或修饰语共现,如例(33),「に向かって」则少有该现象。

此外,「に向かって」的动态位移性要求后接成分为动作性较强的动词或具有一定时间延续性的变化动词,「に向けて」则不作要求,因此如例(34)所示,其后接成分可为静态的判断句。如改为「食糧不足になっていく」,则「に向かって」接受度提高。

综上,「に向けて」的语义特征为基于主体强意志性的 [+主动指向]。

2.3.2 「に向けて」的语法功能

根据与「に向けて」共现的谓语特点,我们可将其分为两类:S瞄准NP,向NP进行位移;S瞄准/针对NP做某动作。

首先，当「に向けて」为S瞄准NP，向NP进行位移时，又可进一步分为三类：

①V为位移动词，「に向けて」有时可与单一格助词「に」替换

(35) シンガポールを訪れていた首相は、現在、次の訪問国タイに向けて
て／〇に移動している。(改自グループKANAME, 2007: 166)

(36) 「トリスタン」をウィーンで上演してもよいという宮廷劇場の意向を取りつけることができたので、ワーグナーは五月二十日パリ
に向けてウィーンを出発することにした。(『リヒャルト・ワーグナー』)

该类类似「に向かって」语法功能中 [+主动面向] 之义的1) ①, V均为移动动词，但另一方面二者也显示出一定的差异。首先，「に向かつて」所接NP表方位处所时，多为大致方向或边界模糊的处所，如「新宿方面」，「空」，「に向けて」所接NP则多为更具体，更具明确边界的处所词，如「タイ」，「パリ」，强调从S到NP的直线性；其次，即便同接移动动词，「に向けて」动词后还可接「ことにする」等表主语意志的句尾表达；再次，「に向かつて」所在主语可为气体，液体等非生名词，「に向けて」则不行，「に向かつて」的NP可为风雨等自然物，「に向けて」则不行。

②V为动作动词，「に向けて」不可与「に」替换

(37) 目頭から目尻に向けてふき（一度ふいた面で二度ふきしない）、
額、頬、鼻の下、口の周囲、あごの順にふく。(『家の光』)

该类类似于「に向かって」语法功能中的1) ②, S作为动作动词V的施事，本身不一定向NP移动，且多在句中省略。向NP移动的是S的手。V为「ふく」，「マッサージする」等具有连续性位移特点的动作动词。此时，较「に向かつて」表大致方向的NP，「に向けて」多为更明确的处所词，且向NP的移动更具直线性。

③V为动作动词，「に向かつて」可与「のために」替换

- (38) そして私たちは、そこで高まった士気を「コク・キレ」の「生」に一点集中させ、その緒戦で勝った勢いをさらに増幅させるため、主動の地位の恒常的確保に向けて行動したのです。(『兵法に学ぶ』)
- (39) イ・ビョンホンの関係者は二十七日、「『アイリス』が来年8月の放送に向けて3月ないし遅くても4月には撮影をスタートさせる」と明らかにした。(『Yahoo!ブログ』)
- (40) しかるに彼にはとうてい未来に向けて自分をこえてゆくことができなかったのであるか。(『藤井貞和詩集』)

该类与「に向かつて」语法功能中的1) ③有所类似, 更有不同。当NP均为表目标的名词时, 首先, 「に向かつて」所接NP多为抽象的目标, 「に向けて」多为更具体明确的目标, 因此可为动名词, 如例(38)「主動の地位の恒常的確保」; 其次, 与「に向かつて」共现的谓语多为「頑張る」等抽象的动作行为, 且该动作行为具有一定的延续性或变化性, 与「に向けて」共现的谓语则多为具体的动作行为, 且该动作行为可不具延续性或变化性, 如例(39)的瞬间动词「スタートする」、例(40)的动词「こえる」加「～ことができなかったのである」, 变为表结果的状态性。

此外, 「に向けて」的强意志性还使其NP较为单一, 一般只为人为设定的目标类, 且与动词使役态、「～ため」从句共现较多, 如例(38)和(39), 而「に向かつて」的NP除了目标类外, 还可为「冬」、「死」等非意志性的、必然发生的自然现象。

2) S本身固定, 视角从S向NP位移。

- (41) 熊本県の西側一帯は海に面し、真ん中から南西に向けて宇土半島と天草諸島がたれ下がった形になっている。(『東京ルネサンスと熊本・神戸の挑戦』)

该类与「に向かつて」语法功能中的2)类似, NP为处所方位词, 可与「に向かつて」替换, 但与「に向かつて」相比, 「に向けて」更强调其方向的直线性。

其次, 当「に向けて」为S瞄准/针对NP做某动作之义时, 可分为两类:

1) 「に向けて」不能与单一格助词替换

(42) 僕ら親子は、去っていく背中に向けて、中指を突き立てる。
(『Bad boys!』)

(43) 高齢者に向けては、「総合福祉カード」を全国で初めて実施しようとして、現在、日本アイ・ビー・エム、リコー、NTTデータ通信三社の協力を得て開発中です。(『鄙の論理』)

该类有两种情况, 第一种如上例(42)所示, 表S在面对NP的情况下瞄准NP, 并做出某种具体的动作, 由于主语的动作对客体具有面向性, 因此「に向けて」可与「に向かつて」替换, 但相比于「に向かつて」, 「に向けて」具有更强的针对性和指向性, 包含了施事强烈的主观意志。第二种如例(43), 表S针对NP进行某一动作。由于「高齢者」并非实际面对, 只是针对之对象, 因此不可与「に向かつて」替换。即当「に向けて」所接动作对NP既形成针对, 又形成现实中的面对之关系时, 可与「に向かつて」替换, 但语义较替换前的明确指向转变为替换后的大致指向。当只形成针对之关系时, 则无法实现替换。

2) 「に向けて」可与「に」替换

(44) 1937年7月7日夜、演習中の日本軍に向けて何者かが発砲したのだ。翌日も銃撃がやまなかったので、日本軍は近くに駐屯している国民党軍の仕業と見て応戦した。(『新・地球日本史』)

(45) 男たちは俵夫らに向けて惜しめない嘲笑を送った。(『意味』)

(46) 外国人記者に向けて配布した。(卢涛, 1996:106)

该类也可进一步分为两种情况，第一种如上例（44）和（45）所示，表S在面对NP的情况下瞄准NP，做出某一具体动作，且该动词在句法上要求「に」格。第二类如例（46）所示，表S针对NP做出某一动作，动词为要求「に」格的、以「配布」、「配送」为代表的具有授受性质的动词。

上述两类中，第一类可与「に向かって」形成替换，但替换后瞄准之义弱化。第二类则不行。此外，两类都可和「に対して」形成替换。

3. 三者的关联、区别与同传的预测

以上主要讨论了表方向义的「に対して」、「に向かって」和「に向けて」的语义特征和语法功能，可以归纳如下。

表1 三者的语义特征对比

比较	に対して	に向かって	に向けて
	①基于动态相对的 [+ 回应指向]；②基于静态相对的 [+ 主动指向]	①基于动态位移的 [+ 主动面向]；②基于静态面对的 [+ 主动面向]	基于主体强意志性的 [+ 主动指向]

从语义特征来看，三者既有共性，又有差异。其中「に対して」的②、「に向かって」的②及「に向けて」之语义特征有一定共性；同时，「に向かって」①②和「に向けて」之语义特征也有所重合。即，当「に対して」②和「に向けて」的指向之义在“面对”且“静态”的条件下时，可与「に向かって」②形成三者之间的互换，此时后接谓语往往为「発砲する」、「送る」、「配送する」等使受事移向NP的动词，或「言う」、

「笑う」、「(手を)振る」等言语、动作动词；当「に向けて」的指向之义在“面对”的条件下时，可与「に向かつて」的①②形成两者间互换，此时除「構える」等动作动词外，谓语还可为「出航する」、「歩く」等移动动词。

当然，正如前文所述，由于三者语义特征并非完全相同，互换后句子亦会出现语义上的差别。从单向指向强度来看，具有相对含义的「に対して」<具有单向面向含义的「に向かつて」<具有强意志性的「に向けて」，因此如下例所示，即便与三者共现的动词同为「言う」，在语气强度上仍会有一定不同。

(47) 小林は、山下に対して、早く家に帰るべきだと言った。

(48) 小林は、山下に向かつて、早く家に帰れと言った。

(49) 小林は、山下に向けて、速やかに帰宅するようにと言った。

例(47)中，与「に対して」共现的谓语语气一般偏向理论中立性，例(48)由于其“面向”的特征，谓语一般可用感情更强烈的命令态，使指向性加强，例(49)则由于「に向けて」对NP的主观意志性，谓语一般还可用「ように」等期待、劝告语气。

此外，三者的主要差异还在于，「に対して」具有回应指向的特点，后两者没有，后两者含有动态位移的特点，「に対して」则没有。

另一方面，从语法功能来看，「に対して」和「に向かつて」均可分为能与单一格助词「を」、「に」替换的类型和不能与单一格助词替换的类型，「に向けて」则一般只分为能与单一格助词「に」替换的类型和不能与单一格助词替换的类型。具体如表2所示。

表2 三者的语法功能对比

比较	语法功能	に対して	に向かって	に向けて
NP 种类	与「を」 替换	①有生名词(例:小林);②「Vること」名词(例:研修事業を行うこと)	①有生名词(例:選手)	×
	与「に」 替换	①有生名词(例:彼);②处所名词(例:施設);③物名词(例:酒)	①有生名词(例:店員);②处所名词(例:日本)	①有生名词(例:日本軍);②处所名词(例:タイ)
	不能替换	①有生名词(例:社員)	①有生名词(例:自分);②方位处所名词(例:新宿方面);③抽象目标名词(例:夢);④自然现象(例:風、冬)	①有生名词(例:高齢者);②方位处所名词(例:パリ);③抽象目标名词(例:夢);⑤具体目标名词(例:8月の放送)
谓 语 种 类	与「を」 替换	①形容词化的心理动词(例:恨まずにはいられない);②言语类动词(例:さん付けて呼ぶ);③指导帮助类动作动词(例:補助する)	②批判类言语动词(例:怒鳴る)	×
	与「に」 替换	①表联络的动作动词(例:アクセスする);②发送/提供/给予/言说类动作动词(例:発射する、言う);③心理类动宾短语(例:尊敬の念を持つ)	②发送/言说类动作动词(例:嘖き出す、言う);③心理类动宾短语(例:反抗的な態度をとる);④移动动词(例:移動する)	②发送/言说类动作动词(例:発砲する、言う);④移动动词(例:移動する)
	不能替换	①动作动词(例:沙汰される);②存在动词ある;③表变化(例:慢性化する)	①动作动词(例:構える);③表变化(例:一体になる);④位移动词(例:走る);⑤抽象行为动词(例:頑張る);	①动作动词(例:実施する);④位移动词(例:出発する);⑤抽象行为动词(例:頑張る);⑥瞬间动词、结果状态(例:スタートする)

通过分析「に対して」、「に向かって」、「に向けて」的区别与联系,我们可以基于上表2中NP的特征来对谓语进行某种程度的预测,使之服务于同声传译的实践。

例如,在复合格助词可与「を」替换的类型中,NP为有生名词的情况下,当NP接「に対して」时,谓语既有可能是形容词化的心理动词,言语类动词,也可能是指导帮助类动作动词,但当NP接「に向かって」时,只可能为具有强烈感情色彩的批判类言语动词。

在复合格助词可与「に」替换的类型中,NP为处所名词的情况下,当NP接「に対して」时,谓语可为发送/提供/给予类动作动词,当NP接「に向かって」和「に向けて」时,谓语则可能为发送类动词或移动动词。

在复合格助词不能与单一格助词替换的类型中,NP为目标名词的情况下,当NP接「に向かって」时,谓语多为抽象行为动词,当NP接「に向けて」时,谓语则可能为抽象行为动词,或包括瞬间动词在内的具体行为动词、及表结果状态性的谓语。

当然,同传的预测并不在于追求对某个词句的准确预知。译员在信息输入及处理过程中,总是伴随着对自身知识储备的调取与比对,并据此来对后续信息进行大致预判。这种结构化的知识储备被称作图式,最早由哲学家康德提出。译员在图式建构过程中,一方面依靠理论,但更多情况下依据自身主观经验,导致有时会出现一定的偏颇。而前文基于语义和语法规则的分析,可构建起一个关于方向义复合格助词的较为系统的语言图式,从而为预测提供一定的范围。

4. 结论

以上主要探讨了表方向义的「に対して」、「に向かって」、「に向けて」的语义特征和语法功能,并提出了其可能对同传预测带来的意义。通过分析可知:

首先,从三者的语义特征看,「**に対して**」为①静态相对下的[+主动指向],②动态相对下的[+回应指向];「**に向かって**」为①基于静态面对的[+主动面向],②基于动态位移的[+主动面向];「**に向けて**」为基于主体强意志性的[+主动指向],可进一步下位分类到①静态指向和②动态指向。其中,“指向”指施事动作所作用的最终对象,“面向”则指施事动作面对某一对象,但并不一定指向该对象。因此当指向的对象与面对的对象重合时,三者之间可实现一定程度的替换,但指向强度「**に対して**」<「**に向かって**」<「**に向けて**」。

复合格助词的指向强度受两个因素的影响:1)主语向NP位移倾向的强度;2)主语与NP互动关系的弱度。对于1),「**に対して**」句中主语无法向NP位移,二者形成点与点的静态相对关系;「**に向かって**」句中主语可向NP的大致方向位移,二者形成点与面的关系;「**に向けて**」句中主语可直指NP,向NP位移,二者形成点与线的关系。即主语向NP位移倾向的强烈程度为「**に対して**」<「**に向かって**」<「**に向けて**」;对于2),「**に対して**」的相对关系往往使主语与NP的互动性较强,具体表现为:句子构成恒常或完整性的客观事件,NP为有生物时,作为动作的受事,其反应被主语或说话人予以关注或期待。与之相比,「**に向かって**」只强调主语面向NP,而不关注NP的反应,且多为对场景的即时性描写,「**に向けて**」则更强调主语的主观感受,同样不关注NP的反应。即主语与NP互动关系为「**に対して**」>「**に向かって**」>「**に向けて**」。

以上不同的语义特征也在客观上影响着三者语法功能的实现,使NP和谓语种类显示出一定的差异,其中「**に対して**」前接NP不能为方位名词,但可为「**こと**」名词,「**に向かって**」和「**に向けて**」可接方位名词,但一般不接「**こと**」名词。「**に向かって**」可接自然现象,但一般不接具体目标,「**に向けて**」可接具体目标,但一般不接自然现象。另一方面,与「**に対して**」共现的谓语可为心理动词、言语动词、动作动词、表变化的

动词、存在动词等，但不能为移动动词，与「に向かって」和「に向けて」共现的谓语则可为移动动词，但不可为存在动词，当NP为目标名词时，「に向けて」还可接瞬间动词或表结果状态的动词。

最后，我们也可以借助三者语义特征的不同，对后续信息进行一定程度的预测，用于指导同声传译的实践。

参考文献

- グループ・KANAME (2007)『複合助詞がこれでわかる』東京：ひつじ書房
- グループ・ジャマシイ (2000)『日本語文型辞典』東京：くろしお出版社
- 塚本秀樹 (1991)「日本語における複合格助詞について」日本語学 (3) : 78-95.
- 马小兵 (2011)『日语复合格助词与语法研究』北京：北京大学出版社
- 裴麗 (2011)「介詞“对”と複合格助詞『に対して』 - 『客体』を表す用法を中心に」国際協力研究誌 (1) : 137-153
- 盧涛 (1995)『中国語における「空間動詞」の文法化研究 - 日本語と英語との関連で -』神戸大学大学院文化科学研究科博士課程論文
- 松本曜 (1997)「空間移動の言語表現とその拡張 (第II部)『空間と移動の表現』(田中茂・松本曜著)日英比較選書6」中右実編：126-230 研究社